

豐中市
埋藏文化財年報



THE ANNUAL REPORT '94

SECTION OF CULTURAL HERITAGE MANAGEMENT, TOYONAKA CITY

VOL. 4
March, 1996

豊中市
埋蔵文化財年報
VOL.4

豊中市教育委員会

平成8年(1996年)3月

はじめに

豊中市は大阪平野の北西部に位置し、猪名川の流れと千里丘陵の緑という豊かな自然環境に育まれた沃野にあります。この恵まれた豊中の地には、古来より人々の生活が営まれてきました。現在、私たちの目の前には、一万数千年にわたる先人達の生活の痕跡が、遺跡として残っています。

阪急宝塚線の前身である箕面・有馬電気軌道の開通以来、商都大阪の発展とともに、近郊に位置する豊中もまた発展の道をたどりまし。しかし押し寄せる開発の波は、のどかな自然環境や村落の景観に変化を余儀なくし、長年の間に培われてきた数多くの貴重な文化財もまた、消滅の運命をたどった事実を忘れてはなりません。豊中市ではこれまで文化財保護法にもとづき、開発にともなう遺跡の事前発掘調査を実施してまいりました。その成果は、年に一度の連報展や啓発資料としてできる限り公開してまいりました。しかし本来、調査成果というものは、その後の研究・学習活動と、あらゆる啓発事業のための基礎資料として、まず学術報告書としてまとめられるべきものであります。現実には、それには多くの時間を必要とするため、調査成果の概要をいち早く公開すべく本書を発行するものです。本書が文化財と地域への理解に対し、少しでも貢献するものとなれば幸いです。

平成8年(1996年)3月

豊中市教育委員会
教育長 青木伊織

例 言

1. 本書は平成6年度(1994年度)の埋蔵文化財に関する事業と、調査成果の概要を報告するものである。
2. 発掘調査のうち、個人住宅など国庫補助事業については、豊中市教育委員会が主体となって実施した。また公共及び民間開発に伴う発掘調査に関しては、亥野 強氏(神戸国際大学非常勤講師・日本考古学協会会員)を団長として、それぞれの調査ごとに調査団を編成し、実施した。
3. 本書の編集・執筆は、社会教育課文化財保護係職員が分担して行なった。また一部の文末にその責を明らかにした。
4. 発掘調査を行うにあたり、土地所有者、施工業者ならびに近隣の皆様からは御協力と御理解を賜わった。ここに篤く感謝するものである。
5. 本書の製作にあたり、(財)大阪府文化財調査研究センター 三宮昌弘氏、六甲山麓遺跡調査会 浅岡俊夫氏より御協力をいただいた。
6. 第1章「市内における開発と埋蔵文化財の調査」中の遺跡分布図の縮尺は50000分の1である。
7. 第1章「市内における開発と埋蔵文化財の調査」中の調査地点位置図の縮尺は50000分の11である。

目 次

I 市内における開発と埋蔵文化財の調査	1
II 平成6年度(1994年度)の発掘調査の概要	27
III 普及・啓発事業と刊行物	45
IV クローズアップ'94	49